

## おきなわシーサーラウンド

H30.9.15 in 沖縄県立武道館



沖縄県での開催は6回目となるおきなわシーサーラウンド！今回も昨年度に続き、9月の開催となりました。昨年度は安室奈美恵さんのコンサート、今年度は安室奈美恵さんの引退と重なり県外からの参加がしにくい状況での開催となり大変申し訳ない限りです。そのよう状況の中でも、佐藤先生には沖縄に来ていただき、当日の講義でも熱く語っていただきました。今回は新学習指導要領でもキーワードとなっている『体育科における主体的・対話的で深い学び』について、佐藤先生の講義や単元構造図づくりのワークショップを通して学びを深めていきました。体育・保健体育の授業づくりにどっぴりとつかった4時間でした！

### 1 「体育科における主体的・対話的で深い学び」について

まずはじめに、「体育科における主体的・対話的で深い学びについて」と題して、佐藤豊先生より講話していただきました。小・中学校において、新学習指導要領移行期に取り組むべきことや佐藤先生の実践から感じること、今後の研究課題、教師として身につけたい実践的指導力等についての話から始まり、本論では、新学習指導要領のキーワードの1つでもある「主体的・対話的で深い学び」を体育・保健体育科の中でどのように取り組んでいくかについて、体育学習における主体的で対話的で深い学びのイメージを示していただきながら、分かりやすく説明していただきました。その中で、教師が直接、子供たちにアクセスできることが知識ベースだとすれば、その知識とは何かを検討することが「主体的・対話的で深い学び」を通じた授業改善に迫れるのではないかと。そこで、教師は何を教えるのか（概念知）をしっかりとった上で、どのように教え（方法知）、子どもに何が身につくのか（具体知）をしっかりと押さえ、授業改善に取り組んでいくことが大切であるという話を器械運動やボール運動を例にわかりやすく解説していただきました。新学習指導要領を踏まえた、今後の授業改善の参考となる濃い内容の講義となりました。



### 2 「主体的・対話的で深い学びに向けた単元構造図の作成」ワークショップ

佐藤先生の講義を受けて、「主体的・対話的で深い学びに向けた単元構造図の作成」を校種別に3~6名のグループに分かれて、思考力・判断力・表現力と主体的な態度を身につけさせるための単元構造図を考えるワークショップを行いました。体育・保健体育の教科で単元計画を立てる際に、どうすればより効果的に思考力・判断力・表現力を育てていくような学習を組み立てていけるのかについて話し合いました。今回は、小学校5年生の「ゴール型（バスケットボール）」と中学校1年生「ゴール型（サッカー）」の授業づくりについて、小学校2グループ、中学校2グループ、高等学校1グループで考えていきました。



どのグループも活発に意見交換が行われ、それぞれの考えを活かした単元構造図ができていました。

また、各グループで考えた単元構造図を発表することで、授業のアイデアを共有することができ、校種を超えた交流をすることで、それぞれの授業づくりの参考となりました。

今回は、思考力・判断力・表現力や主体的な態度といった普段の授業づくりでなかなか触れる機会の少ないところへ焦点を当てた研修会となり、難しい面もありましたが、体育・保健体育の今後の授業を考えていく上では、とてもよい機会となりました。

### 3 最後に

最後に、それぞれの班の発表内容について佐藤先生から講評をいただき、本研究会を締めくくりました。今回、開催の周知が遅れたことと、様々な行事との重なり等があり、県外からの参加者希望の先生方には大変申し訳ございませんでした。県内の参加者も28名とやや少なめでしたが、どの先生方も実践意欲にあふれており、今後の体育・保健体育の授業のさらなる充実が期待できることを感じました。引き続き、体育の価値を高めていくために頑張っていきたいと感じることができた「おきなわシーサーラウンド」でした。

